

いつも先生方にはご指導していただきありがとうございます。  
令和2年11月25日に七段に昇段させていただきました。

まず私が剣道を始めたのが30歳の時になります。その当時の新宿剣連の  
会長羽柴稔惇先生がママさん剣道教室を開催したのが始めたきっかけです。  
20人位いたかと思います。息子2人も新宿剣連少年部で伊澤豪人先生  
のご指導のもとやっていました。

羽柴稔惇先生の教えはいつも感謝の心で、どんな条件のもとでも剣道させて  
いただくことに感謝の心を持つことでした。

たしかに私の場合は結婚以来主人の仕事が自営業でしたので主人の片腕として  
現在の今でも働いています。仕事、主婦、子育てをこなしつつやって来ました。

剣道をすることも仕事に穴を開けないことが絶対条件でした。キツイ時も  
ありましたが剣道をやりたい気持ちが強く、大変ならば辞めればと、言われる  
のもイヤなので羽柴稔惇先生のことばを思いだし、よけいに仕事も家事もこな  
したいと思っています。

七段に昇段した今も主人は私の剣道姿を一度も見たことがありません。でも、  
剣道を知らない主人も七段ってすごいネ！ と少しは理解してくてたようです。

平成12年11月に六段に昇段させていただいてここまで来れば充分と思っ  
つつ、、、七段への道は遠く遠く感じていましたがあきらめず挑戦してきました。  
水、金曜日の稽古は豊田芳一先生（八段）始め平山邦夫先生、目黒勇  
先生、市川元洋先生、北澤基志先生、清水公俊先生に稽古をお願いしてしまし  
た。清水公俊先生には何年も前から必ず毎回稽古をつけていただきました。

審査の1ヶ月前頃から東山誠理事長により、六段・七段の受審者は立ち合い  
稽古を中心に毎回ご指導をしていただきました。縁を切らず、肩の力をぬき  
しっかり打つとする。声、残心さらにメリ、ハリを付けるなど、など！！  
本当にありがたく感謝しております。

そして、私が守ってきたことは剣道の基本ですが正しい姿勢。背すじを  
グッと伸ばすことにより姿勢が正しければ品位が加わり、勇気が増し、威厳  
も生まれること。

両足の位置は平常歩行の始めの足幅。

足のかまえ。 左右の足が互いに平行で右足が進めば左足を、左足が退けば右足を引きつけ、終始歩調を乱さないこと。 足さばきは、コロナの休みあけに8月、9月と練習も皆でしてきました。

昼の部の稽古をしている婦人部の皆さんも、四段、五段、六段となり稽古を頑張っています。 私が昇段させていただいたことで励みになっていただけたらうれしく思います。

稽古に一番大切なことは 面の打ち込みを沢山することが良いのではないかと思います。

女性は男性に力ではかないません。 女性独特な柔軟性を生かし秘めたる気迫、しぶとさで精進していきたいと思います。

先生方、これからもどうぞよろしくご指導をお願いいたします。  
早くマスクから解放されて、平和な日常が来て 楽しく剣道ができることを願うばかりです。

2021.2.7

佐藤 幸子